

第2次磐田市環境基本計画後期計画 《概要版》

2023年度(令和5年度)～2027年度(令和9年度)

望ましい
環境像



私たちは、自然と産業が調和した魅力あふれる磐田市の環境を将来の世代に引き継いでいく責任があります。そのため磐田市は、市・市民・事業者が協力して進めていく取組みを第2次磐田市環境基本計画後期計画にまとめました。

水と緑が彩る みんなが暮らしやすいまち磐田
～今も 2050年も それからも～

1 暮らしやすさが実感できる環境をつくります

磐田市

大気汚染や水質汚濁、騒音などから生活環境を守るため、法令に基づいた調査や指導を行う。また、日常生活で発生する迷惑行為の防止を啓発する。

市民

お互いが気持ちよく生活できるように日常生活で発生する音や臭いに気を付ける。



事業者

事業活動に伴う音や臭い、水質汚濁、大気汚染など、公害の発生を防止する。



2 豊かな自然環境を守ります

磐田市

山林や河川などの自然環境と、そこに生息する生物を守るため、緑化や保安林の管理、バックウトンボの保護などを行う。



市民

自然環境の保全や動植物との共生の大切さを理解し、森づくりの活動や地域の美化活動などに参加する。

事業者

事業場の敷地に植物を植え、働く人の環境を整える。また、民間団体などと協力して野生動植物の生息地を保全する。

3 自然・歴史 文化とふれあう機会をつくります

磐田市

市民や事業者の郷土に対する愛着を深めるため、地域の自然環境や歴史文化とふれあう機会をつくる。

市民

自然環境や文化財を通じて地域の歴史を学び、自然環境・伝統・文化を尊び後世に継承していく。

事業者

開発事業を行う際に自然の地形をできる限り活かし、周辺の景観と調和するように努める。

4 3Rの取組みや環境にやさしい消費行動を推進します

磐田市

ごみの減量や再資源化を進めるため、適正な分別方法や3Rについて周知する。また、不法投棄のパトロールなどを行う。



市民

ごみの適正な分別に努め、食品ロスやプラスチックごみを減らす。また、資源を大切にし、節水を心がける。

事業者

事業活動に伴う廃棄物を適正に処理し、減量・再資源化に努める。また、環境に配慮した製品の製造やサービスを心がける。

5 環境教育を推進します

磐田市

人と自然の関わりを学ぶことの重要性を啓発する。また、市民や事業者の環境保全の活動を促すため、環境学習の機会を設ける。

市民

環境問題について関心を持ち、自然観察会や体験教室などに積極的に参加する。



事業者

事業活動が環境に与える負荷について理解する。また、市・市民などと協働し環境保全活動を行う。

6 地球温暖化対策を推進します

磐田市

市民や事業者の地球温暖化を防止する取組みを支援する。また、市の事業における省エネや再生可能エネルギーの導入を進める。

市民

脱炭素の取組みを日常生活に取り入れ、電気使用量の削減や徒歩による移動などを実践する。



事業者

事業活動に伴う温室効果ガスの排出を削減する。また、地域の脱炭素に貢献できる事業活動を検討する。

2050年カーボンニュートラルを目指して地球温暖化対策を推進します

磐田市は、将来にわたり暮らしやすいまちに向けて、2050年のカーボンニュートラルを目指しています。この達成は、事業者や市民の皆さんとともに、手を取り合って取り組む必要があります。未来の子どもたちへ住みよい環境を届けるために、ご協力をお願いします。



私たちの未来のために できることから始めてみよう

2050年の未来は、私たち一人一人のこれからの自発的な行動に委ねられています。温室効果ガス削減のために自分に何ができるのか考え、共に協力しながらカーボンニュートラルを目指していきましょう。

私たちの暮らし方を環境にやさしいものにすると、 こんなに二酸化炭素を減らすことができます。

※取組による二酸化炭素削減量：単位kg-CO₂

<p>エアコンの使用時間を1日1時間短くすると</p> <p>▲9.2kg</p> <p>年間節約代金 約 ¥580</p>	<p>シャワーの使用時間を1日1分短くすると</p> <p>▲28.7kg</p> <p>年間節約代金 約 ¥3,210</p>	<p>冷蔵庫に入れるものを半分にすると</p> <p>▲21.4kg</p> <p>年間節約代金 約 ¥1,360</p>
<p>外食や家庭で食品ロスをゼロにすると</p> <p>▲35.3kg</p> <p>年間節約代金 約 ¥8,900</p>	<p>照明をLED照明に換えると</p> <p>▲27.2kg</p> <p>年間節約代金 約 ¥2,876</p>	<p>+1着で暖房の設定温度を1℃低くすると</p> <p>▲35.3kg</p> <p>年間節約代金 約 ¥3,338</p>

私たちが上記に全て取り組むと、1世帯当たり 157kg の二酸化炭素を減らすことができます。さらに磐田市の全世帯がこれを実践すると、約10,311t の二酸化炭素削減につながります。この削減量は、2019年度の家庭から排出される二酸化炭素の約5%に当たります。

節約で一世帯当たり
年間 20,264 円も
お得に！

※出典：資源エネルギー庁ホームページ「無理のない省エネ節約」
※出典：環境省発行「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後」
※令和5年1月末現在の世帯数を参考に試算

磐田市が取り組んでいくこと

- 消費エネルギーの削減に取り組む事業者や市民の皆さんを支援します
- 市が率先して環境にやさしい行動に取り組めます
- 小学生から大人まで地球温暖化に関する啓発を広く行います
- 森林の適正な整備を促します
- 集中豪雨や気温上昇などの気候変動の影響に備える施策に継続して取り組みます

《発行》磐田市（環境水道部環境課）《所在地》磐田市国府台3-1 《電話》0538-37-2111(代表)
《公式サイト》 <https://www.city.iwata.shizuoka.jp/>

なぜカーボンニュートラル？

カーボンニュートラルとは

家庭や事業所などから排出される温室効果ガスと、森林などの吸収により除去される量が等しくなること

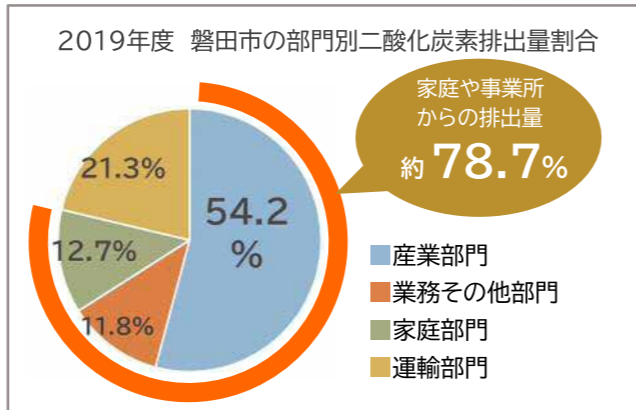
地球温暖化が原因とされている気候変動により、猛暑や豪雨などの自然災害が世界各地で頻発しています。このままでは私たちの暮らしだけでなく、生態系にも大きなダメージを与えることが予測されます。

この温暖化の原因は、大気中に増加した二酸化炭素などの温室効果ガスで、これにより地球の平均気温が上昇しています。この二酸化炭素の多くは、わたしたちの暮らしや事業活動から排出されています。

右のグラフは、2019年に磐田市から排出されている二酸化炭素排出量の割合を示すグラフです。家庭や事業所からの排出量が約8割を占めています。

地球温暖化を防ぐために、わたしたち一人一人が暮らし方や働き方を見直し、二酸化炭素を減らす必要があります。

異常気象	海面上昇
食糧不足	動植物の絶滅 リスクの増加



カーボンニュートラルを目指しましょう

カーボンニュートラルとは、家庭や事業所などから排出される温室効果ガスと、森林などの吸収により除去される量が等しくなることです。

我が国は、2020年10月にこの実現に向けて本格的な動きをはじめました。そのため、市も2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする、ゼロカーボンシティを表明しました。

